

「からまつ」のようにきびしい自然に耐え、どっしりと大地に根をおろし、すくすくと育つ西春別小学校の子ども



別海町立西春別小学校 学校だより

からまつ No. 8

令和4年10月31日発行

校長 太田 等

学校の教育目標

知 よく考え表現する子

徳 心豊かで思いやりのある子

体 進んでやりぬくたくましい子

読書の秋を 清々しく

太田 等

黄色や赤に色濃く染まっていた木々の葉が落ち、時折朝霜も見られるようになったことから、冬の気配を感じる時期となりました。今月8日、学芸会を開催。保護者の皆様の惜しみない拍手や手拍子などの温かい応援により、子どもたちは本番に向け準備してきた成果を最大限に発揮することができました。保護者の皆様が見ている前で自分のがんばりを一生懸命に披露できたことに、大きな自信をまた一つ持つことができたのではないかと思います。これも保護者の皆様の日頃のご理解とご協力のお陰であると心より感謝いたします。振り返ってみますと2学期が始まってから、運動会、クロスカントリー、そして、学芸会と大きな行事が立て続けにあり、平常とは違う慌ただしい期間となりましたが、子どもたちはそれらを見事にやり遂げ、その中で様々なことを学び体験し、大きく成長したことと思います。また、どの行事も天候に恵まれるなど、最高のコンディションの中での開催となり、無事故大成功で終わることができました。これも子どもたちの普段のがんばりの表れとっております。健気で素晴らしい子どもたちの姿に感慨を深くしております。

去る27日は、文字・活字文化の日。この日より来月9日まで読書週間となります。子どもたちの学習もそれに関する内容となっております。

ある朝のこと。図書室から出てきた低学年の児童が、廊下で出会った私に借りてきたばかりの本の面白さを楽しそうにお話してくれました。次の日、掲示板の「学びレポートコーナー」を見ると、その本の紹介文が掲げられておりました。どの子の紹介文もたどたどしくもその子らしい文字で、感じられたことが、短く綴られておりました。一文字一文字にその子の心の中に描かれた楽しい様子が凝縮されており、とても嬉しくも温かな気持ちになりました。中学年では、短い物語を作成する等の学習をし、どの子もとても楽しい想定外の結末の作品を書き上げていました。想像したことを文字にすることの面白さをあらためて体験することができたことと思います。高学年では、来月行う研究授業で、読み取った情報を基に意見文等を作成する学習に取り組んでいきます。

29日には生涯学習センター「みなくる」において第4回別海町ビブリオバトルを開催。本校から6年生が出場し、自分たちが選んだ本の魅力について聴衆を前に堂々と発表していました。この取組を通して読解力と表現力が高められたのではないかと思います。

「文字・活字文化の日」の目的はおおよそ、文字の読み書きによる知的で心豊かな国民生活及び活力のある社会の実現です。豊かな心の醸成、人間性の向上です。

子どもたちの日常を見ていますと「清々しさ」を覚えます。その意味を辞書で検索すると「①爽やかで気持ちがいい。②ためらいがなく思い切りがいい。③物事が滞りなく進む。」とあります。共通していることは、目的や目標に向かって自分が今すべきことをしっかりと意識し、挑戦することによって表出されるものと言えます。精一杯、物事に取り組んでいる人の挨拶等の言動は、確かに明朗快活で清々しいものです。

訓練の続く時代の中、子どもと共に成長することが求められています。そのためにも、目的をしっかりと認識し、それぞれの役割に責任をもって取り組む中で、清々しく子ども達と向き合い、温かな笑顔あふれる学校を創っていけるよう尽力して参ります。